

2021年度 名古屋芸術大学 入学試験問題

特別選抜「社会人入試2期、海外帰国生徒入試2期、外国人留学生入試2期」

入試問題様式

試験科目：「小論文」

日 程：2020年2月2日（火）

試験時間：50分 / 解答字数：800字程度

人間発達学部 _____ 子ども発達学科 _____ 領域

[課題]

近年、社会のグローバル化が進む中で「コミュニケーション能力」の育成に注目が集まっている。これまでも、日本人のコミュニケーション能力の低さは問題視されており、教育課程においてもカリキュラムの改定が繰り返され、教育現場ではコミュニケーション能力を高めるための指導の工夫と努力が重ねられている。

コミュニケーション能力の低下の理由や、なぜ、コミュニケーション能力を育成することが重要視され、必要とされているのかについてあなたの考えを述べよ。そして、あなた自身、自分のコミュニケーション能力をどのようにとらえ、大学でどう学んでいくか、その考えを述べよ。

[出題の意図等]

コミュニケーション能力は、年齢、国籍を問わず人間社会においては必須のものである。

そして、コミュニケーション能力の低下の原因やその必要性を記述することで、その重要性が明確になり、自分自身のコミュニケーション能力についても振り返る機会となる。そして、大学は専門分野だけでなく、人としての必要な資質を身に付けける場であることを、小論文を通して認識することができる。

模範解答

コミュニケーション能力の低下を招いた背景として、まずテレビやスマホ、ゲーム、インターネットなどのエキサイティングなメディアの普及がある。これは、一方で外遊びや自然体験、集団遊び、読書等の機会の減少を招き、身体性や身体感覚、創造性や自ら課題解決していく力、情緒等の育成を阻み、他者との関係づくりに負の影響を及ぼしているといえる。また、少子、核家族化によって、色々な世代と意見を交える機会が難しくなっていることも一因と考えられる。

21世紀はグローバル化が一層進み、多様な価値観、自分とは異なる文化や歴史をもつ人々とともに、正解のない課題、経験したことのない課題を解決していかなければならない多文化共生の時代である。このような時代を生きるためには、多様な価値観をもつ人々と共に、協力・協働し、社会に貢献できる人間となることが求められる。そのためには、他者を理解・受容したり、自己を振り返り新たな自分を形成したりする力が必要である。また、伝える力が高まり、相互に伝え合うことの喜びを知ることにもできる。このような資質は、周りからの信頼を得て、自己肯定感と自信を醸成することができる。コミュニケーション能力を高めることは良好な人間関係を築き豊かな人生をおくることにもつながる。

私はどちらかというとな集団活動は苦手である。しかし、気の合った友達との時間は楽しく、仲間と力を合わせ、目標を達成するために努力することで大きく成長できるという経験もした。人は助け合い、学び合っていくことで成長できる。従って、コミュニケーション能力を高めることは重要な課題である。大学では、専門分野を深く学ぶと共に、新たな友達や世代の異なる人と積極的に交流し、社会に通用する資質として高めていきたいと考える。